

平成25年4月7日に開催されました平成25年度4月班長会の報告を「保存版資料」「班長会報告」にアップしました。

コメント

2.自治会実施報告：介護講座「家族に介護が必要になったときに」

4月14日(日)午後2時から松が丘中央会館で、吾妻地域包括支援センターのご協力をいただき、松が丘交流広場・たすけあいの会・松が丘みまもりボランティアが主催、所沢松が丘自治会が協賛の介護講座が開かれました。松が丘交流広場や松が丘クラブの皆さんを中心に41名の会員の皆さんが出席されました。講師には吾妻地域包括支援センター相談員の竹内もみさんをお願いしました。



<介護講座>

埼玉県は全国で最も高齢化が進んでいる都道府県の一つだそうで、2005年の65歳以上の人口は116万人(全人口に占める割合：16.4%)でしたが、推計では2015年に179万になるとのことです。増加率は5.5%で全国一だそうです。更に、2055年には75歳以上の人口が占める割合は2.5%にも達するという推計もあるそうです。

こんな状況から、介護を必要とする高齢者が増えることが予想されます。われわれ「高齢者」自身はもちろんのこと、家族の皆さんも介護に対する心構え、準備をしておくことが大切です。今回の講座はそうした意味でも誠に有意義であったと思います。所沢市の地域包括支援センターは日常生活圏ごとに14地区に設けられていますが、介護や福祉サービスの利用に関する事を始めとして、日常生活上の様々な相談に対応し、高齢者の暮らしを支えています。

センターに寄せられる相談を見てみると、介護が必要になるのは、(1)脳卒中になった時、(2)足腰が極端に弱った時、(3)転倒などで骨折した時、(4)認知症の傾向が出た時、(5)がんの治療で入院した時などが多いそうです。竹内さんには、それぞれの場合に本人と家族がどのような対応をしたら良いのかといったお話をいただきました。そのあと、介護保険の申請からサービスの開始までと施設の利用についての説明がありました。最後に質問と意見交換の時間が設けられていましたが、そこで2丁目の会員から、奥様の認知症の兆候に気付いてから病院に行くまで1年もかかってしまい、診療したお医者さんに叱られた、皆さんお気を付け下さいとの生々しいご報告もありました。

講座は午後4時、成功裏に終了しました。

所沢松が丘自治会 副会長 桑原洋二郎

コメント

2.自治会実施報告：第1回集団資源回収は予想された3倍の資源物を回収！！

4月5日(金)松が丘自治会の初めての集団資源回収でした。第1回目の集団資源回収にご協力いただきましてありがとうございました。



<出陣式>

午前8時30分、指定回収業者(株)エコ・クルーのスタッフと自治会理事が集まり中央会館前で出陣式が行われました。エコ・クルーの専務より「松が丘で初めての回収事業。気持ちよく挨拶をするように。そして、けがや事故をしないように気を付けて頑張るように」という挨拶。加藤会長からは「物を回収するだけでなく、それを愛用してきた人の気持ちを考えて回収してほしい」という挨拶のあと、全員で団結の一本締めをしてはじまりました。



<指定回収業者(株)エコ・クルーの回収車>

9時から始まった回収はみなさんから出された資源物が多く(当初予想の3倍を超える量)、予定の時間がすぎても終わらず、急ぎよ広報車を出してアナウンスして遅れることをお知らせしました。



<玄関先に出された大量の資源物>

予定時間を大幅に遅れてしまい申し訳ありませんでした。サービスのビニール袋450セットを用意しましたが全部無くなり厚手の袋をお渡ししました。

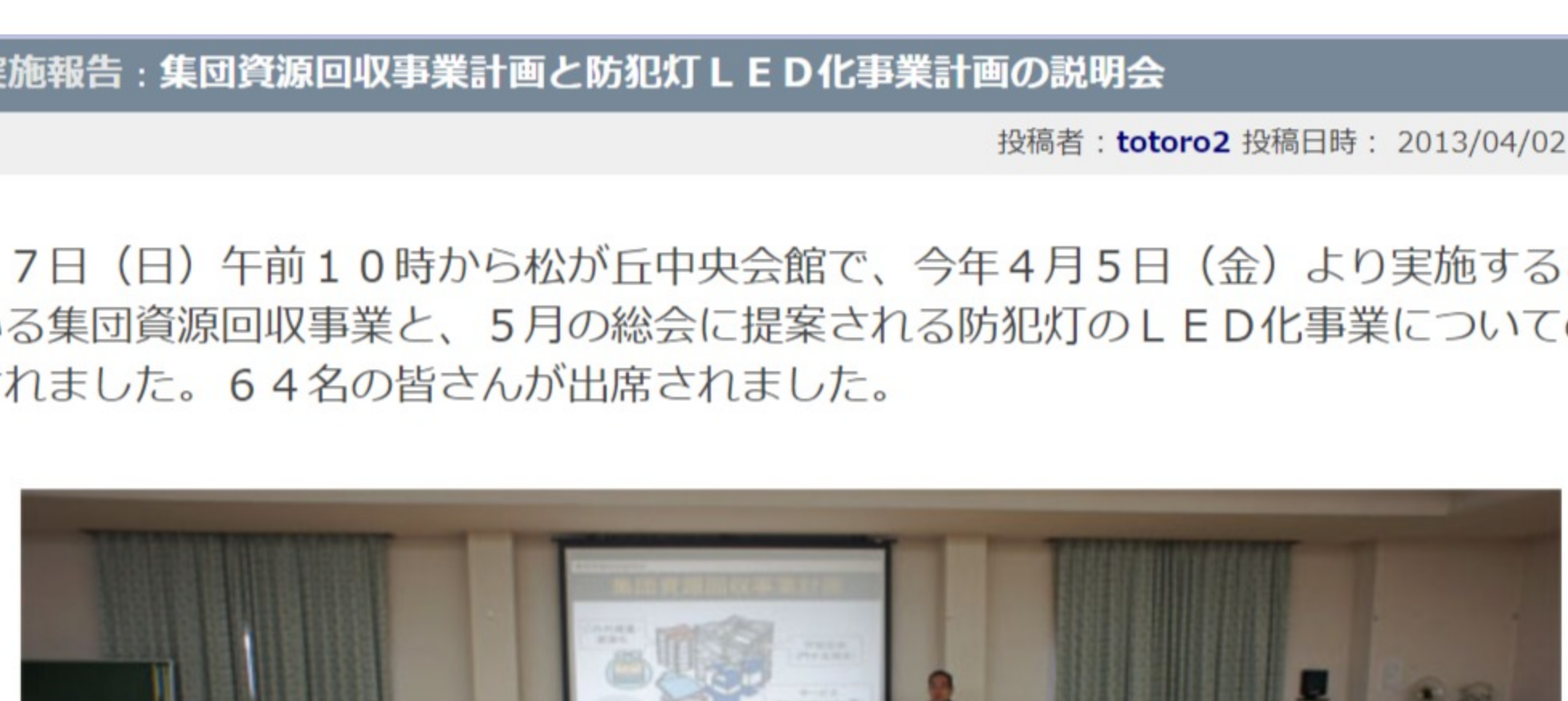
次回はサービス品の数を増やし不足することがないように業者とよく打ち合わせをします。また予定時間を守れるように業者と検討して万全を尽くします。



<回収した資源物>

私たち理事も最後まで回収のお手伝いをしましたが、みなさんのご協力に感謝の気持ちでいっぱいになりました。準備不足、説明不足が多々あり反省しています。

回収されたものをトラックに詰め、会館の駐車場を清掃して終わったのが午後6時30分。エコ・クルーのスタッフの皆さんともすっかり親しくなり解散しました。



<すっかり暗くなった回収終了時>

ご協力いただきまして、ありがとうございました。これだけ資源に高い関心を持っていただけることはやはり、自然に囲まれて生活しているわたしたちの環境と、みなさまのご理解とご協力のお蔭だと思います。

ありがとうございました。

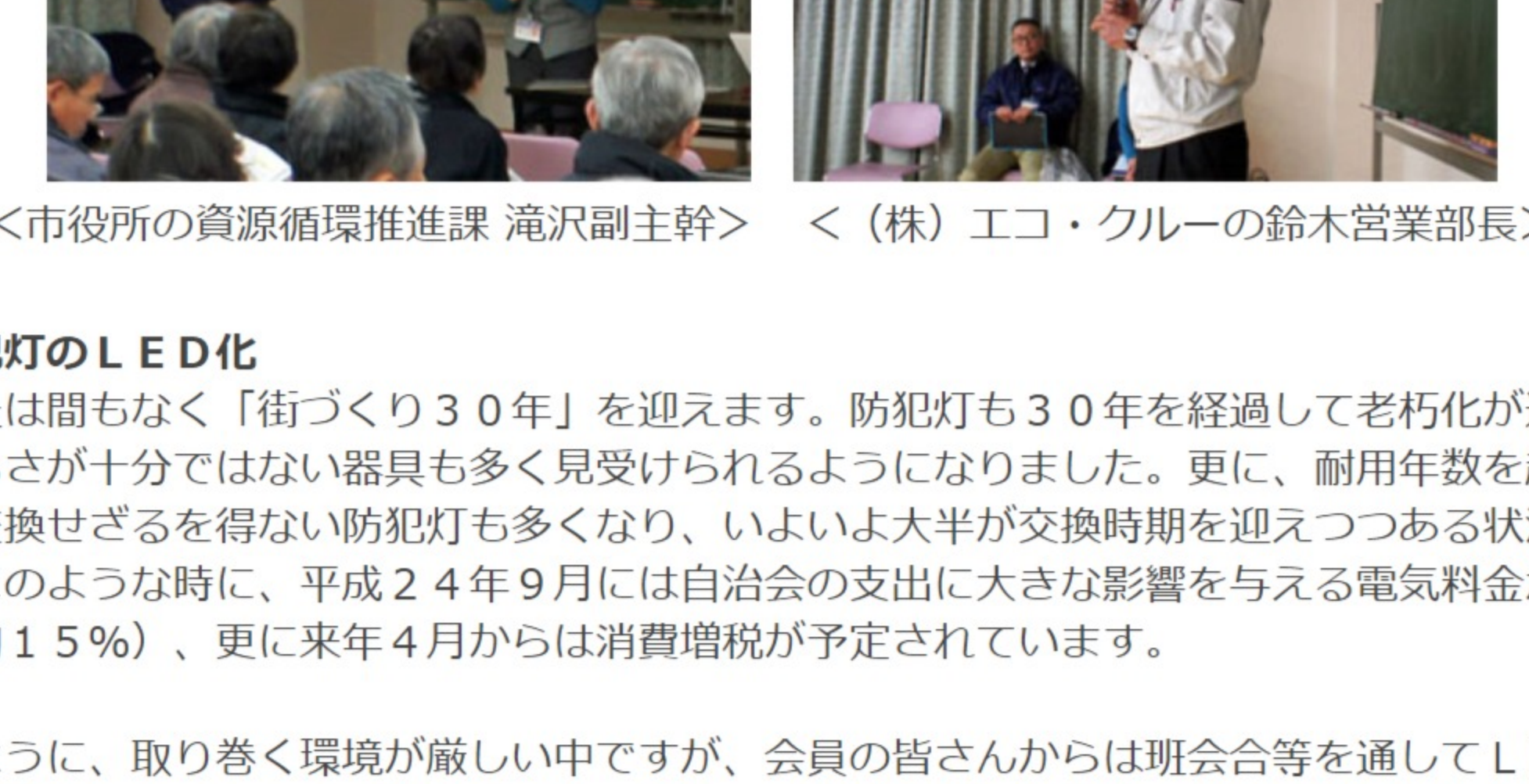
松が丘自治会 環境美化 松本 白井

コメント

2.自治会実施報告：2-44班・2-45班の合同班会合

2-44班・2-45班の合同班会合を実施しました。平成25年3月30日(土)10:00~11:30 中央会館和室 参加者 6世帯(男性3人、女性4人)、役員(白井)

“カフェテラス松が丘”の世話役の皆様が、コーヒーとお菓子のおもてなしをしてくださいました。7人の参加で、和やかな会になりました。



<和やかな合同班会合>

自己紹介のあと、「集団資源回収」について、担当の白井理事から詳しい説明を伺いました。街灯のLED化の説明と集積所のゴミの出し方、高齢化に伴う班長の仕事をどうするか→班を合併すること、検討課題となりました。

所沢市のとことこガーデンに登録しているお宅の、素敵なお庭の話、また、市有地である空き地(トロの森2号地登り口)を借り受けて、花壇をつくっている話などを伺うこともできました。

“カフェテラス松が丘”を利用した班会合は、とてもよかったです。スタッフの皆様、ご協力くださった理事さん、どうもありがとうございました。

世話人：穂積 保

コメント

2.自治会実施報告：集団資源回収事業計画と防犯灯LED化事業計画の説明会

2月17日(日)午前10時から松が丘中央会館で、今年4月5日(金)より実施することが決まっている集団資源回収事業と、5月の総会に提案される防犯灯のLED化事業についての説明会が開催されました。64名の皆さんが出席されました。



<加藤会長による事業目的の説明>

1. 集団資源回収

平成25年4月から、燃やすごみ(現在毎週月曜日と木曜日に出しているごみ)を減らして燃料費を節約し、再利用できるものを別途回収して資源化するために、市の進める「集団資源回収」に所沢松が丘自治会でも取り組みます。環境・美化担当の白井理事から集団資源回収事業計画についてお話がありました。



<白井理事による集団資源回収事業計画の説明>

それに引き続き、所沢市役所の資源循環推進課 滝沢幸代副主幹さんが、主に回収対象・回収方法・出す時の注意事項などについて説明されました。実際に回収するのは、一般ごみとは違い所沢市(委託業者)ではなく、自治会が選考・契約した指定回収業者の株式会社エコ・クルーです。そちらからは鈴木営業部長が来られましたが、回収上の細かい点について出席者からの質問に答えていただきました。



<市役所の資源循環推進課 滝沢副主幹> <(株)エコ・クルーの鈴木営業部長>

2. 防犯灯のLED化

松が丘は間もなく「街づくり30年」を迎えます。防犯灯も30年を経過して老朽化が進んでおり、明るさが十分ではない器具も多く見受けられるようになりました。更に、耐用年数を超えているため交換せざるを得ない器具も多く、いよいよ大半が交換時期を迎えつつある状況です。折しもこのような時に、平成24年9月には自治会の支出に大きな影響を与える電気料金が値上げされ(約15%)、更に来年4月からは消費税増税が予定されています。

このように、取り巻く環境が厳しい中ですが、会員の皆さんからは班会合等を通してLED化の要望も強くあります。そこで役員会では、多額の費用が掛かる防犯灯の器具交換の最も経済的な方法を探るべく、(1)防犯灯の維持管理費の今後の動向、(2)現状で器具交換する防犯灯数とその時期、(3)LED防犯灯のメリット、(4)LED化する場合に要する多額の費用に対する予算措置、(5)今後の防犯灯に関する予算管理の仕組みについて、総合的な見地から検討を重ねてきました。

その結果、松が丘の街並みの明るさを蘇らせ、省電力化で地域社会にも貢献できる防犯灯の早期LED化を30周年記念事業として推進することが経済的にもベストと判断し決定しました。防犯担当の宮下理事から防犯灯LED化事業計画についてお話がありました。



<宮下理事による防犯灯LED化事業計画の説明>

所沢松が丘自治会 会長 加藤芳夫

コメント